

事業所名

ユニコの森児童発達サポートセンター（児童発達支援）

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025年

1月

30日

法人（事業所）理念		全ての子どもたちの健やかな成長と、一人ひとりの育ちに合った自立を支援し、本人の 警戒・緊張・怒りモードを刺激しないように本人が “不快・脅威” ではなく、“快” を感じながら自主性を伸ばすような支援をします。								
支援方針		発達支援を必要とするお子さんがご家族とともに安心して豊かな地域生活を送れるように支援し、本人が安心して過ごすことをサポートする中で、本人自らの自由な発声や発語が出て、1か所でも落ち着いて遊ぶことが出来、支援者と心の通じ合いを感じるようになって初めて “受け取ってもらえた” “わかってもらえた” という体験や気づきが起こる様な支援をしていきます。								
営業時間		9時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容										
本人支援	健康・生活	*健康状態を事前にLINEなどで把握します。（来所前、体調の変化があれば事前に相談していただきます） *自分と言う感覚が身につくことで、基本的な生活スキル（自分で身支度や物の管理等ができる、片づけや準備・忘れ物確認、排泄、更衣、身だしなみや清潔の確認など）が獲得できるようになることを目指します								
	運動・感覚	*さまざまな遊びや課題を通して、身体や手先の使い方のコツを教えるのではなく、本人が自ら気づき身につけることが出来るようにサポートします。 *お子さんの運動機能や感覚の感じ方(敏感・鈍感)を自分で気づけるようにサポートします。 *力や疲れなどを自分で感じる事が出来るようにサポートします。								
	認知・行動	*自分という感覚が身につくことで、空間や時間等の概念の形成、自主的な行動につなげます。 *自分の得意なことや苦手なことなどを知り、自己理解をしていくことを促します。 *自分の気持ちや行動に気づいて調整しようとするなど適切な行動への対応の支援を行います								
	言語 コミュニケーション	*自分の思いや要求の相手への伝え方など場面や相手の状況に応じた適切なやりとりを促します。 *自分と言う概念を身につけることで理解や特性に合わせた読み書き向上に、興味を持って動機づけが起こる様にサポートします。								
	人間関係 社会性	*活動の目標を理解し、役割やルールなどに応じて友達との協同・集団遊びへの取り組みややりとりを通して、適切な人間関係の形成を促します。 *他者の気持ちや意図を理解したり、適切な行動をしたりするなど、社会に適応するために必要なソーシャルスキルの獲得を支援します。 *自分の感情や気持ちなどに関心を持ち、情緒の安定を図ります								
家族支援		*別室から療育の様子を眺めることが出来るようにして、親子通所での支援場面の観察などを通じて、お子さんの特性を踏まえた関わり方などについて相談援助を行います。 *ご家族からお子さんのご家庭での様子や心配などについてお話を伺い、ご家庭でも実践できるような環境づくりや関わり方の工夫を一緒に考えます。*教団が来ている時には一緒に療育に親も参加してもらって兄弟姉妹間のかかわり方について気づきが増えるようにサポートします。				移行支援		*切れ目のない支援を継続できるよう移行先にお子さんの発達やこれまでの支援経過、支援方法等に関する情報共有し、支援し会議などに出席して、地域の教育の後方支援を行います。		
地域支援・地域連携		*保育、教育、福祉、医療等の関係機関と連携し、地域の発達支援体制の充実や地域の発達支援に関する課題の改善・解決に努めます。特に当センター小児科専門医が運営しており、保護者も含めて支援しています。 *発達に支援が必要なお子さんに関する知識について普及啓発します。				職員の質の向上		*外部研修の受講や事業所内研修を実施し、職員の専門的な知識やスキル、支援の質の向上を図ります。		
主な行事等		特記事項はありません。								